



校長だより

# 日中丸



第29号  
R2. 2. 14

日間賀中学校長  
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

## 3年生 保育所訪問 2.12(水)

3年生が家庭科の授業で保育所訪問をしました。3年生は、10月から、幼児の心身の発達と生活、それを支える家族の役割や遊びについて学んできました。訪問時は、これまでの学習で製作した手作りゲームで一緒に遊んだり、外遊びをしたりしました。笑顔あふれるすてきな時間となりました。



## 3年生 愛好作業 2.13(木)

卒業を控えた3年生が、卒業前に3年間生活してきた日間賀中学校への感謝を形にするため愛校作業を行いました。体育館、家庭科室、理科室、視聴覚室のワックス塗りと相談室のペンキ塗りをしました。一人一人が感謝の気持ちを込めて丁寧に作業していました。





## 朝会より 2.10(月)

### 生徒発表（2月のテーマ：1年を振り返って）

#### 鈴木日万梨さん（1年）

この1年を振り返ると、この1年は変化の多かった1年だと思えます。

4月から中学生になって授業の時間も変わったし、学校での生活も変わったと思います。部活動の回数も増えて勉強も難しくなって大変だなと思っていたけれど、今はだんだん慣れてきました。

中学校の生活で私は、校長先生が言っていた靴を整頓することができるようになりました。以前は靴をそろえるのを意識していなくてバラバラだったけれど、今は意識するようになって学校でも普段の生活でも靴を整頓することができるようになりました。

この1年は変化が大きくて大変だったけれど、中学校で生活することで意識してできるようになったことが増えたので、これからも意識してできるようになることを増やしていきたいです。

#### 田中悠暉さん（1年）

僕が1年を振り返って一番印象に残っていることは、部活動と体育祭です。

部活動は小学校の時から大きく変わって、サッカーからバレーボールになりました。バレー部では、最初、筋トレや声出しでした。特に、声出しが思い出に残っています。樋山先生と1年生で、いろいろな種類の応援曲を歌って応援しました。部活動を盛り上げることができてよかったです。

体育祭では、全員リレーがとても印象に残っています。小学生の時から、全員リレーはとても楽しみにしていました。全員リレーでは、チームで協力して走るの、バトンパスなどをきれいにスムーズにできるようにがんばりました。本番では、バトンパスがスムーズにできてよかったです。

この1年は、あつという間だなと感じました。

#### 鈴木大智さん（2年）

僕が1年を振り返って思い出に残ったことは4つあります。

1つ目は、郡大会です。なぜかという、去年は大会に参加することができなかったけれど、今年は大会に参加することができたからです。

2つ目は、島民体育祭です。なぜかという、今年で最後の「三宅島太鼓」を上手に演奏することができたからです。

3つ目は、合唱コンクールです。なぜかという、去年は緊張して歌うことができなかったけれど、今年は緊張せずに歌うことができたからです。

4つ目は、新年に誓う会です。なぜかという、去年は緊張して上手に発表することができなかったけれど、今年は上手に発表することができたからです。

### 福島文先生の話

### こんな話をしてくれました。

この1年を振り返ってみると、思い浮かぶのがアントニオ猪木さんの「道」という詩です。

この道をゆけばどうなるものか、危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし、踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ 行けばわかるさ。

私は今年教員になって初めて「学習担当」を任せられました。今までやったこともないし、数学が嫌いだという子ばかりなのに「学習担当」が務まるのかと不安で不安で仕方ありませんでした。

しかし、この始めの文「この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。」にあるように、どうなるのか分からないという不安や恐怖を乗り越えないと道は開けないので、せっかくのお話だから勇気を出して断らずに引き受けました。

そして、次に「踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。」これは、悩んでいても、考えていても、それだけでは何も変わらなく、何かを変えるには行動することだということです。先生も分からないなりにいろいろとやってみました。そうすると、やっていくうちにだんだん学習担当の仕事が分かるようになってきました。自分の新しい道ができたのだと思います。

そして、最後に、「迷わず行けよ。行けばわかるさ。」です。これは、やってみたら必ずそれが「自分の人生の成長」につながるということがわかるという意味です。

学習担当をやってみて、今まで考えなかったことも考えるようになり、自分の可能性がさらに広がったように思います。

まさにこの「道」という詩のような1年でした。

皆さん。もし今後何かチャレンジする機会があるなら、ぜひ勇気を出してチャレンジしてみてください。何事もやってみたら、成功しようが失敗しようがそれが必ず皆さんの力になり、人としての成長につながります。私もまだまだチャレンジし続けます。一緒にチャレンジし続けましょう。

